

新刊 紹介  
Book Review

保険薬剤師による  
今、本当に薬剤師の仕事が  
面白い

横井正之 著

メディカルドゥ/B5・112頁・2,100円

刺激的なタイトルに惹かれ、本書を手にとった。近年、薬学教育6年制、登録販売者制度の開始、ジェネリック医薬品の利用促進など薬剤師を取り巻く環境は大きく変化している。このようななか、薬剤師のありようは難しくなっており、不安の声も聞かれる。

本書では、現状の医薬分業の制度上、運営

上の問題点を現場に立つ立場から述べるとともに、処方と調剤を分離するという医薬分業の原点に立ち戻り、今後のあり方について鋭く論述されている。その論調は評論家的なあるべき論ではなく、実際に業務に従事している者だからこそ書くことのできる詳細かつ具体的な手法が著わされている。

例えば、いかにして患者さんとの距離を縮めるかとの課題について、薬局の雰囲気やレイアウト、服薬指導時における患者さんとの接し方、薬袋のちょっとした工夫、服装にいたるまで、なぜそうした方がよいのか、一つ一つ根拠を基に論述されており、改善のため

のノウハウ集として使用できる構成となっている。

一つ間違えば死に至る事故の危険もある調剤を手術になぞらえ、極端に調剤をせかす患者さんに対して「手術中にそんなことをしますか?」と発言されるくんだり、著者の調剤に対する高邁な姿勢をあらわす言葉として強く印象に残った。

池田幸弘 Yukihiro IKEDA

※本書は、日本薬学会「薬学情報コーナー」で閲覧できます。